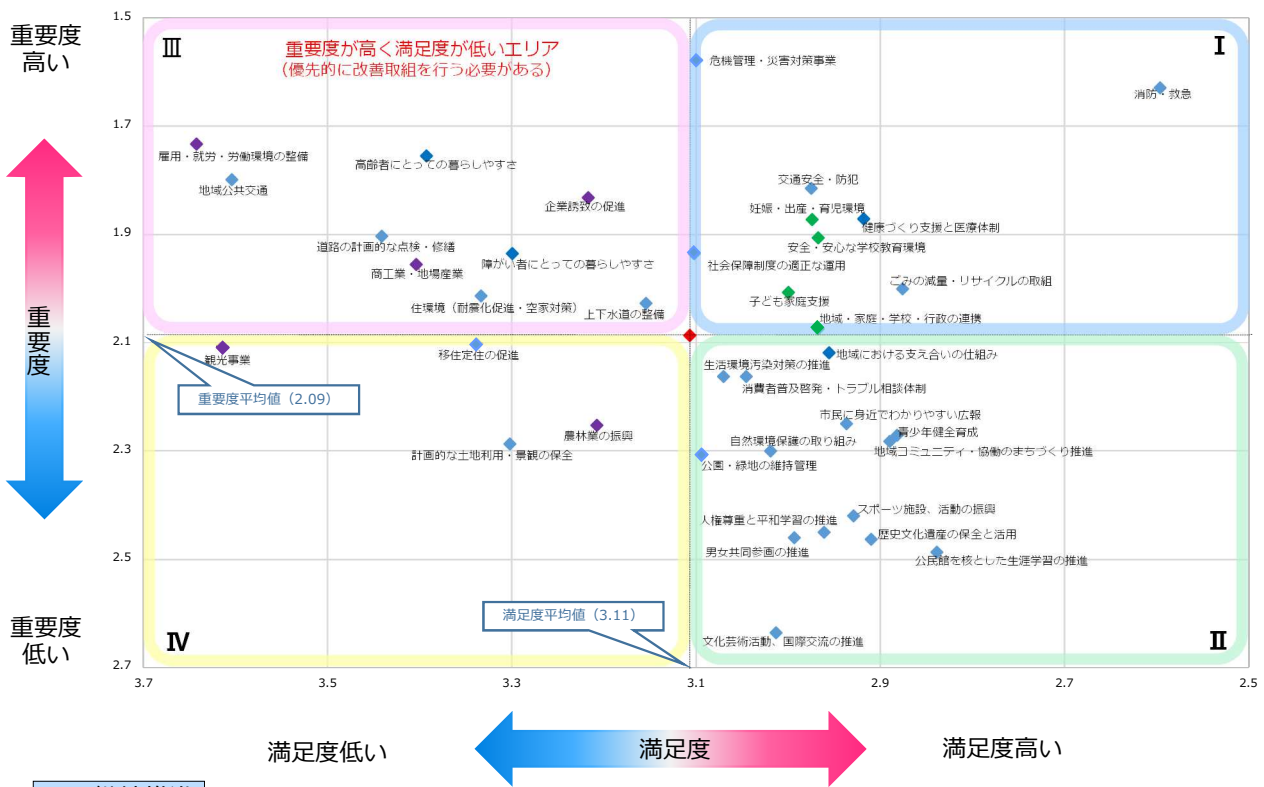


## ■ポートフォリオ分析

37施策項目の満足度の平均値と重要度の平均値を基に4つのエリアに分け、散布図として表わしたものである。



### I：継続推進

重要度、満足度ともに高くなっている。引き続き、満足度に対する高い評価が得られるよう、取組みの継続実施が必要である。

### II：要検討

重要度は低く、満足度は高くなっている。現状を維持しつつ、内容によっては見直し検討が必要である。

### III：重要課題

重要度は高く、満足度は低くなっている。最も課題のある施策項目であるため、今後、優先的に改善に取り組んでいく必要がある。

### IV：課題

重要度、満足度ともに低くなっている。現時点では優先度が低くなっていることから、必要に応じた推進・見直しが求められる。

今回の調査においては、満足度・重要度ともに高いのは「消防・救急」である一方で、「雇用・就労・労働環境の整備」「地域公共交通」「高齢者にとっての暮らしやすさ」「企業誘致の推進」「道路の計画的な点検・修繕」「障がい者にとっての暮らしやすさ」「商工業・地場産業」「住環境（耐震化促進・空家対策）」「上下水道の整備」の9項目については重要度が高いものの満足度は低いため、優先的に改善取組を行う必要がある項目となっている。

また、図中の◆◆◆については、第2次橋本市長期総合計画における基本目標ごとに設定された「先行的に取り組むプロジェクト」に位置づけられた施策項目であり、概ね重要度が高いエリアに位置していることがわかる。10年間の長期総合計画期間中、継続調査の実施、「選択と集中」の視点から効果検証を行うことで、各施策の実施が求められる。